

□ 年 □ 組 □ 番 名前 □

教材 1-G-(1)の解答 古代から中世までの文化史

次の(ア)～(セ)の間に答えなさい。

(ア) 飛鳥文化にもっとも関係の深いものを、下の①～④の中から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 広隆寺弥勒菩薩像こうりゅうじ みろくぼさつ ② 東大寺南大門金剛力士像(鎌倉)とうだいじ こんごうりきし
③ 唐招提寺鑑真和上像(奈良)とうしやうだいじ かんじんわじやう ④ 平等院鳳凰堂阿弥陀如来像(平安)びやうどういんほうおうどう あみだにょらい

(イ) 飛鳥文化にもっとも関係の深い寺院を、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①平等院(平安) ②東大寺(奈良) ③法隆寺 ④唐招提寺(奈良)

(ウ) 天平文化にもっとも関係の深い人物を、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①聖徳太子(飛鳥)しやうとくたいし ②藤原道長(平安)ふじわらのみちなが
③蘇我馬子(飛鳥)そがのうまこ ④聖武天皇しやうむ

(エ) 天平文化の作品で和歌を集めたものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①日本書紀(歴史) ②古事記(歴史) ③万葉集 ④風土記(国の記録)ふんどき

(オ) 奈良時代の仏教の様子にあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 仏教の力で国を守ろうとして、国ごとに国分寺・国分尼寺を建てた。
② 末法思想の流行から阿弥陀如来の信仰が貴族の間で広がった。(平安)まつぽう
③ 真言宗や天台宗などの密教が受け入れられ、山間で厳しい修行を積んだ。(平安)しんごんしゆう てんだいしゆう みつきやう しゆぎやう
④ 仏教を受け入れるかどうかで豪族間で争いがおき、蘇我氏が勝利した。(飛鳥)

(カ) 藤原氏が政治の中心だった頃の仏教の様子にもっともあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 仏教の力で国を守ろうとして、国ごとに国分寺・国分尼寺を建てた。
② 末法思想の流行から阿弥陀如来の信仰が貴族の間で広がった。
③ 真言宗や天台宗などの密教が受け入れられ、山間で厳しい修行を積んだ。
④ 仏教を受け入れるかどうかで豪族間で争いがおき、蘇我氏が勝利した。

同じ選択肢でも、問題の聞き方によって解答が異なります。答え合わせの時に正解か誤答かだけでなく、それぞれの選択肢の内容を復習してみよう。

(キ) 平安時代の頃の文化で「源氏物語」にもっとも関係の深い人物を、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①紀貫之 (古今和歌集) ②清少納言 (枕草子)
③紫式部 ④最澄 (天台宗)

(ク) 古墳時代に伝えられたものとしてあてはまらないものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①仏教 ②かな文字 (平安時代・日本で成立) ③儒教 ④漢字

教材 2「外交の様子」で学習した、遣唐使の廃止に大きく関わっています。日本独特の文化です。

(ケ) 平安時代のものとしてあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①法隆寺五重塔 (飛鳥時代) ②東大寺大仏 (奈良時代)
③東大寺正倉院 (奈良時代) ④平等院鳳凰堂

教科書や資料集などで、実際のものを写真で確認してみましょう。(ア) (イ)なども同じです。

(コ) 次の〔 〕に最も関係の深いものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

〔から衣 すそに取りつき 泣く子らを 置きてぞ来ぬや 母なしにして
(防人の歌)〕

- ①日本書紀 (天平文化・歴史書) ②古事記 (天平文化・歴史書)
③万葉集 (天平文化・和歌集) ④風土記 (天平文化・国ごとの記録)

(サ) 平安時代に活躍した人物にあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①紀貫之 ②鴨長明 (鎌倉) ③藤原定家 (鎌倉) ④蓮慶 (鎌倉)

(シ) 鎌倉時代のものにあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①古今和歌集 (平安) ②源氏物語 (平安) ③枕草子 (平安) ④徒然草

どのような書物か、作者は誰かなど、一覧表にまとめておくことも有効な方法です。

(ス) 室町時代の頃に完成し今日にも影響を与えているものとして、あてはまらないものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①水墨画 ②書院造り ③歌舞伎 (完成は江戸) ④狂言

(セ) 鎌倉時代に成立した浄土宗の開祖にあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ①親 鸞 (浄土真宗) ②一 遍 (時宗) ③法 然 ④道 元 (曹洞宗)

鎌倉時代は多くの新しい仏教が信仰された時代です。開いた人物や宗派・寺の名などをまとめておきましょう。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	③	④	③	①

(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)
②	③	②	④	③

(サ)	(シ)	(ス)	(セ)
①	④	③	③

それぞれの説明文を、教材1-G-(2)の表にあてはめて記入してみよう。
時代ごとの文化の特色を、まとめることができます。

教材 1 - G - (2) 古代から中世までの文化史（記入例）

	飛鳥文化（白鳳文化）	天平文化	国風文化	鎌倉文化	室町文化
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・仏教を中心とする ・中国、朝鮮、西アジアの影響 	<ul style="list-style-type: none"> ・仏教の力で国を守ろう ・国際色豊か 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の風土や生活に沿った独特の文化、貴族中心 	<ul style="list-style-type: none"> ・武士の素朴で力強い雰囲気 ・公家や僧を中心とした伝統の上に武士や民衆にも分かりやすいものに 	<ul style="list-style-type: none"> ・公家と武家の文化が混ざる ・禅宗の影響 ・現代につながるもの
人物	<ul style="list-style-type: none"> ・推古天皇 ・天智天皇 ・聖徳太子 ・天武天皇 	<ul style="list-style-type: none"> ・聖武天皇 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原氏などの貴族 		<ul style="list-style-type: none"> 武士中心
建造物・仏像等	<ul style="list-style-type: none"> 法隆寺（中門・金堂・五重塔・回廊） 薬師寺東塔 広隆寺弥勒菩薩半跏思惟像 中宮寺弥勒菩薩半跏思惟像 法隆寺金堂釈迦三尊像 法隆寺百済観音像 薬師寺金堂薬師三尊像 法隆寺玉虫厨子 興福寺仏頭 	<ul style="list-style-type: none"> 東大寺正倉院 唐招提寺金堂 興福寺阿修羅像 東大寺大仏 唐招提寺鑑真和上像 正倉院螺鈿紫檀五絃琵琶 	<ul style="list-style-type: none"> 平等院鳳凰堂 中尊寺金色堂 平等院鳳凰堂阿弥陀如来像 空也上人像 	<ul style="list-style-type: none"> 東大寺南大門 円覚寺舍利殿 東大寺南大門金剛力士像 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿苑寺金閣 慈照寺銀閣 慈照寺東求堂同仁斎〔書院造り〕
書籍・文学	/	<ul style="list-style-type: none"> 歴史書 「日本書紀」 「古事記」 和歌集「万葉集」 地方を描く「風土記」 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性による文学 「枕草子」清少納言 「源氏物語」紫式部 和歌集 「古今和歌集」紀貫之 	<ul style="list-style-type: none"> 「平家物語」（琵琶法師による） 和歌集「新古今和歌集」 随筆（吉田兼好）「徒然草」（鴨長明）「方丈記」 	<ul style="list-style-type: none"> お伽草子（浦島太郎）（一寸法師）
その他		<ul style="list-style-type: none"> 国ごとに国分寺・国分尼寺 	<ul style="list-style-type: none"> ・最澄：天台宗、空海：真言宗 ・かな文字 ・貴族の住居（寝殿）造り ・浄土信仰〔末法思想〕 	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉仏教 浄土宗：法然、浄土真宗：親鸞 日蓮宗：日蓮、時宗：一遍 臨済宗：栄西、曹洞宗：道元 	<ul style="list-style-type: none"> 能（観阿弥）（世阿弥）親子 水墨画（雪舟） 茶の湯 枯山水の庭園